

ハンマー
大海を航る、大槌を持つ。

おおつち はま留学


1期生募集!



おおつちはま留学の魅力ポイント

イチオシ!



with  東京大学大気海洋研究所
国際沿岸海洋研究センター

はま研究会

大槌町には、東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターがあり、様々な研究員が駐在しています。はま研究会では、海洋研究のスペシャリストたちと一緒に、大槌湾に生息する魚やウミガメなどの生態調査研究を実施しています。



with  大槌町

三陸みらい探究

多様な社会人との対話や三陸地域フィールドワークなど自分と地域社会を見つめる大槌高校独自の授業があります。自由なテーマで探究活動を行う「マイプロジェクト」では、生徒たちの活動が全国的に高い評価を得ています。



with KATARIBA

コラボスクール大槌臨学会

大槌高校の1階部分には、認定NPOカタリバが運営する中学生・高校生向けの公営塾「コラボ・スクール」があります。平日は毎日20時半まで開室しており、多様な経験を持つスタッフが生徒ひとりひとりの自習や探究活動をサポートします。

> さらに詳しく大槌高校の魅力を知りたい方は
学校案内パンフレットへ!



大槌町での「はま留学生」の暮らしを紹介！

登校日のスケジュール(例)

- 6:00 起床
- 朝食・身支度
- 7:20 登校
- 8:00 高校着
- 13:00 昼食
- 15:45 部活
- 18:30 部活終了
- 公営塾で勉強
- 20:30 帰宅
- 夕食
- 21:30 入浴・自由時間
- 23:00 就寝

下宿先から徒歩5分にあるバス停から大槌町民バスに乗って登校！



下宿先で作ってもらったお弁当でランチタイム！



部活が終わったあとは「コラボスクール」で自習をしながら帰りのバスを待ちます。



下宿先のオススメポイント

POINT 1

部屋の窓から海が見える！
(海まで徒歩3分)

部屋から見た海の景色



POINT 2

個室で自立した生活習慣が身に付く



部屋の様子

POINT 3

栄養バランスの整った食事！
(毎日3食つき)



食堂の様子



下宿先
「タカマス民宿」
中村康子さん

タカマス民宿では各部屋から海を見渡すことができ、絶景の朝日とともに一日がスタートします。アットホームな雰囲気を大事にしている、地元の食材を活かした家庭的な料理も提供しています。休日には、釣りやマリンスポーツなど大槌の自然豊かな環境を満喫できます。大槌町で都会とは一味違った高校生活を過ごしてみませんか？ 皆さん、お待ちしております！



タカマス民宿スタッフのみなさん

町外から大槌高校に来た在校生にインタビュー！



さたけ たけみ
佐竹健美さん

(岩手県軽米町立軽米中学校出身・総合文化部)



いしい ゆうへい
石井雄平さん

(宮城県気仙沼市立条南中学校出身・サッカー部)



がんば はなえ
雁部英恵さん

(岩手県釜石市立大平中学校出身・バレーボール部)



きむら なおあつ
木村直温先生

(数学科・弓道部顧問)

大槌町で待ってるよ！



木村: 皆さんは大槌高校に入学して1年が経ちますが、学校生活はどうか？

佐竹: 大槌高校は、生徒が明るくて元気の良い学校だと思います。特にクラスマッチ(スポーツ大会)などの行事は盛り上がるよね。

雁部: うん。元気なのはもちろん、大槌を活性化させるために何かしら活動に取り組んでいる人が多いです。例えば、自分で興味のあるテーマを探究する「マイプロジェクト」や校則改定に取り組む生徒会活動など、それぞれが個性を発揮してがんばっていると思います。

石井: 僕は、最近、教室棟の改修工事が終わって校舎が綺麗になったのが良いなあと思います。やっぱり綺麗な教室で勉強できるのは気持ちが良いです。

木村: そうだね、教室の雰囲気も明るくなったよね。外から大槌町に来てみて、大槌町のイメージは何か変わった？

雁部: 私は隣の釜石市から通っていますが、大槌は町民が集まる場所が充実しています。文化交流センターの「おしゃっち」は、いつでも地域の人もたくさんいて賑わっているのによく利用しています。

佐竹: 確かに。僕も前住んでいた場所より、大槌町のほうが生活していて町の活気が伝わってくる気がします。

石井: 僕は岩手県に隣接する宮城県気仙沼市から来ましたが、大槌町はやはり海や山などの自然が豊かだと思います。

木村: 大槌の海はやっぱり良いよね。私も大槌高校に赴任してくる前は大槌町=海のイメージだったけど、来てみると山もあって本当に自然が豊かな良い場所だね。最後に、町外・県外から大槌高校への入学を考えている中学生に、大槌高校の魅力をどうぞ！

雁部: 中学校と比べると高校は新しい教科が増えて、毎日が充実しています。特に地域を舞台に学ぶ「三陸みらい探究」の授業は、大槌高校にしかない特徴的な授業だと思います！

佐竹: 大槌高校の先生方は熱意があり、自分のやりたいことを応援してくれます！

石井: 大槌高校は、伝統芸能の団体に所属している人や地域でのボランティア活動に積極的に参加している人が多いなと感じます。そういった地域と関わる機会が多いため、新しいことにもいろいろとチャレンジできます！

お問い合わせ

岩手県立大槌高等学校

〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌第15地割71番地1
TEL: 0193-42-3025 (担当: 魅力化推進員 菅野・三浦)
MAIL: hamaryugaku@otsuchi.ed.jp

大槌町教育委員会学務課

〒028-1121 岩手県上閉伊郡大槌町小槌第32地割126
TEL: 0193-42-6100

公式 Facebook ページ: 「岩手県立大槌高校」

大槌町教育委員会 & 大槌高校魅力化コーディネーター

私たちが
はま留学生を
サポート
します！



学校 HP

学校案内など
大槌高校の
詳細はこちらへ！



LINE@登録

説明会や
入試情報を
お届けします！

